

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「脳みそに大汗？」

最近読んだコラムに、「1日5分程度、1年後、5年後のことを考える時間を作るべき」と書いてありました。自分は？と考えてみましたが、まったくできていないことに気が付きました。バタバタ仕事をしていると、毎日の業務が優先となり長期的なことを考える時間がなく、いろいろなことを見失っているのかもしれない。考える時間を作るというのはとても大事なことだと改めて感じました。

子どもの頃から、「考えて行動しろ」とよく言われたものでした。仕事をするようになってからも、やはり上司や先輩から「考えて行動しろ」と言われます。「営業方法を考える」「提案を考える」「戦略を考える」「時間の使い方を考える」etc…。あまり考えないで行動する私をみて、あれこれとアドバイスをしてくれていたのだと思います。それなりに(?) 経験を積んだ今は、後輩や子どもにもよく「考える」ように言っています。

PDCAサイクルのP(プラン・計画)は、目標達成のためにまず仮説を立ててプランを練ることでありますが、ここでもまず考えることがスタートです。その後のDO(実行)につなげていくためにとても重要な要素となります。

決して、考えていないわけではないが、やらなければいけない仕事に追われている時もあります。目先のことに目を奪われてしまうのは当然のことで、考えることよりも仕事を片づけるということに時間も労力も集中してしまいます。でも1日5分だけならやってみようか、という気持ちになりませんか？

ソフトバンクの孫正義社長は、仕事について「脳がちぎれるほど考えよ」といいます。挑戦と進化し続けるためには考えることが重要だとのこと。1日5分で1つ発明をするというノルマを

学生時代の自分に課したそうです。きっちりストップウォッチで測って考えて欲しい、と新社会人にメッセージを送っていました。まさに「脳がちぎれるほど」仕事について考えよ、ということですね。

さて、一方で考えすぎてしまい、失敗したことも多々あります。あれこれと先のことまで考えたことが逆に良い方向に向かなかった…。案ずるより産むが易しいといいますが、考えることと行動することのバランスも大切で、時には大胆に「とにかくやってみる」ことも必要ようです。トライ・アンド・エラー。試して失敗してまた学ぶ。PDCAサイクルとは少々異なりますが、こちらも頭に覚えておきたいことです。

私の知人のデザイナーは、アイデアを絞り出す時には、脳みそに大汗をかく、といいます。体を動かして汗をかく、机にむかって汗をかく、仕事の汗のかき方も色々です。

時には「脳みそに大汗をかく」位に考える時間をつくり、お客様のこと、自社のことを考え抜けば、新しいアイデアやヒントが見つかるのではないかと、思います。が、あまり時間をかけすぎてしまうのも、良し悪し。人間の思考はそんなに長くは続かず、何十分も考えているときは、同じことをグルグルと考えて、ただ時間が経過しているだけ、という状態になることが多いそうです。やはり、「1日5分」が最善なのかもしれません。どちらにしても、もう少しだけ「考える時間」を作らなければならないと考えさせられました。

ご案内

■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。

ホームページの運営で 気になることはありませんか？

- ・スマホ対応って？
- ・文章と一緒に考えてほしい
- ・写真やテキストを変えたい
- ・情報を更新したい
- ・ページを増やしたい(減らしたい)
- ・採用ページを作りたい… etc

お気軽にお問合せください
TEL:042-349-3535
(担当：田島まで)

